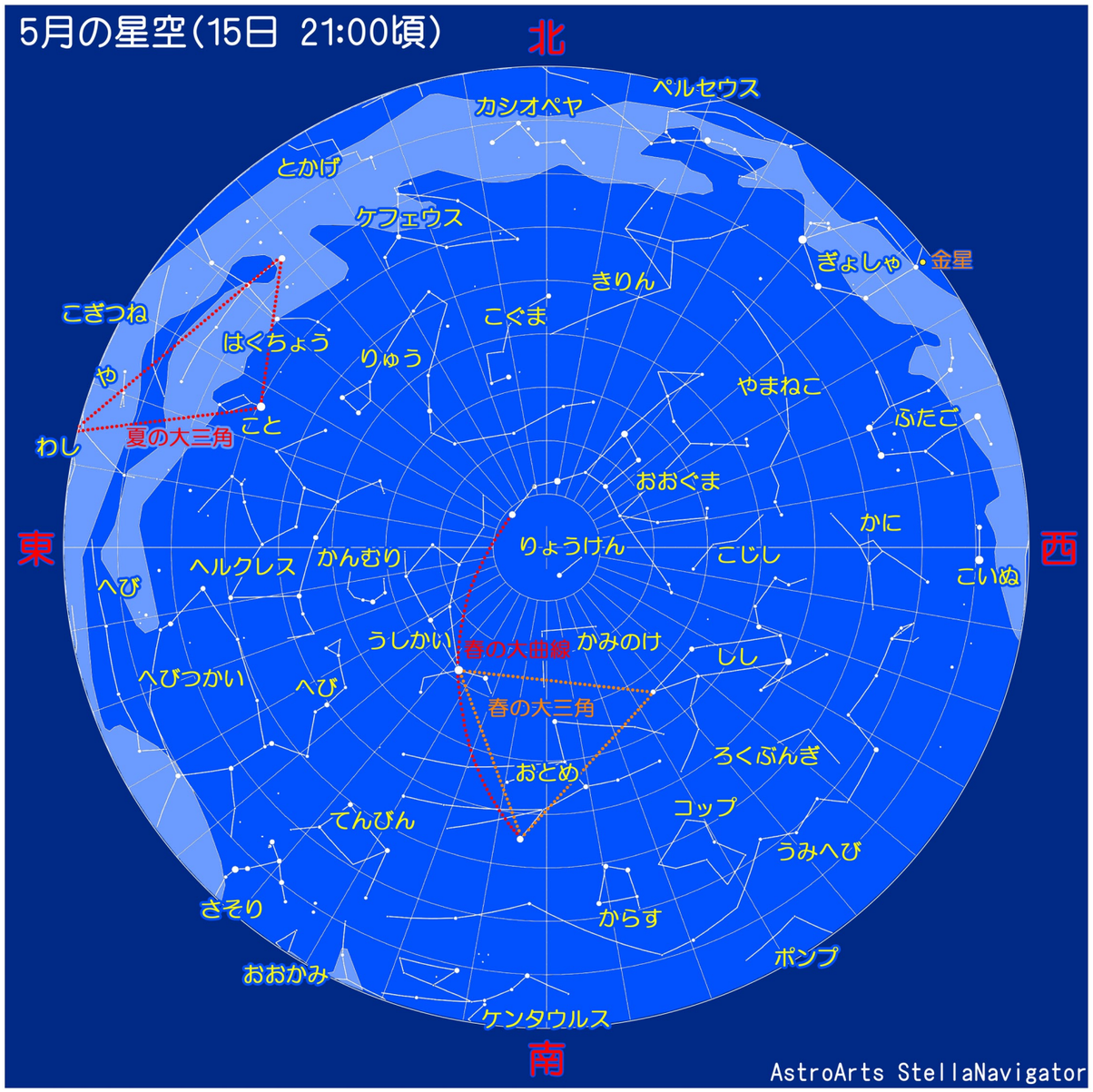
銀河の森天文台
2020年5月みどころ天体情報



月

		出	没
1日	上弦	10:34	01:03
7日	満月	18:13	04:13
14日	下弦	00:23	10:06
23日	新月	04:11	19:21
30日	上弦	10:48	00:18

天文台から月を見ることができるのは27～30日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

金星（惑星）

金星が、日没後の西の空で明るく輝いています。月末にかけて、日没時の高度がどんどん低くなってしまいますが、22日は水星と大接近、24日には水星と月に接近する様子を見ることが出来ます。

太陽からの距離：約1億800万km

北斗七星（星列）

おおぐま座の腰からしっぽにかけての部分で、七つの星がひしゃく（斗）の形に並んでいることから、北斗七星と呼ばれています。とても目立つため世界各地で様々な神話が作られています。

距離：約80～130万光年

スピカ（恒星）

おとめ座の一等星で、青白い色をしています。スピカには「穂先」という意味があり、おとめ座のモデル農業の女神デーメーテルが持つ麦の穂の部分に位置しています。春の大曲線や春の大三角を形作る星の一つです。

距離：約250光年

アルクトゥールス（恒星）

うしかい座の一等星で、全天で4番目に明るい恒星です。北斗七星から春の大曲線をたどると、明るくオレンジ色に輝いているのですぐに見つけることができます。また、春の大三角を形作る星のひとつでもあります。

距離：約37光年

デネボラ（恒星）

しし座の尾の部分に位置する二等星で、アラビア語で「獅子の尾」という意味があります。スピカ、アルクトゥールスとともに春の大三角を形作っています。

距離：約36光年

こぐま座（星座）

北斗七星のあるおおぐま座と親子の星座で、北斗七星と向かい合った、ひと回り小さなひしゃくの形をしています。

こぐま座の尾の先で輝く星が、北極星です。

距離：約97～480光年

ちょっとマニア
・ミザールとアルコル（重星）

北斗七星の柄の方から2番目の星がミザールで、そのすぐ横にアルコルがあります。アルコルは、目の良い人ならば肉眼で見えるため、視力検査に使われていたと言われています。

距離：約80光年

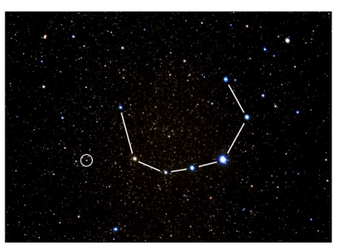
その他おすすめ

- M44（散開星団）
- Mel111（散開星団）
- レグルス（恒星）
- 北極星（恒星）
- アルギエバ（重星）
- からす座
- ヘルクレス座

今月のイチオシ！
☆かんむり座とカムイ

小さな星座ですが、冠のイメージどおりに星がきれいな半円形に並んでいて、比較的簡単に見つけることが出来ます。

昨年12月に、かんむり座の星HD145457とその周りをまわる惑星にそれぞれ「カムイ（Kamuy）」と「ちゅら（Chura）」という名前が付けられました。カムイはもちろんアイヌ語のカムイで「人間にない力を持ったものすべて」を意味します。またちゅらは沖縄・琉球語で「自然の美しさ」を意味します。



かんむり座とカムイ（○印）

5・6月の銀河の森天文台カレンダー

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

開館時間
14:00～22:30
（4月～9月）
13:00～21:30
（10月～3月）

休館日